

2015年2月5日発行(14-3号)

一般社団法人日本社会福祉学会

中国・四国地域ブロック会報

発行者: 中国・四国地域ブロック担当理事: 横山正博(山口県立大学)

広報担当役員: 片岡信之(四国学院大学)

木村敦子(広島文教女子大学)

高杉公人(聖カタリナ大学)

事務局: ノートルダム清心女子大学人間生活学部 杉山博昭

岡山市北区伊福町 2-16-9

ホームページ: <http://www.socialwork-jp.com/csssw/index.html>

I. 田代国次郎先生への追悼

本学会の名誉会員である田代国次郎先生が2014年1月29日に逝去されました(享年79歳)。田代先生は、広島女子大学(現・県立広島大学)に赴任されて、中国・四国地方の社会福祉研究をリードし、広島・山口の施設史や原爆の問題などで多くの研究成果をもたらされました。福島大学への転任で一時期、中国四国地方を離れられましたが、岡山県倉敷市に移り、再び本ブロックでの教育・研究に活躍されました。地域社会福祉史を中心に、本ブロックにかかわる研究成果は大きく、また私を含め多くの会員の指導にあたられました。田代先生のご逝去による、本ブロックの損失はきわめて大きいといえます。田代先生に心より追悼を申し上げるとともに、田代先生のご遺志を受けて、社会福祉研究の発展に会員一同尽力していきたいと思っております。

(日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック事務局長 杉山博昭)

II. 日本社会福祉学会中国・四国ブロック第1回研究会のご案内

この度、中国・四国ブロックの会員連携による研究活動を活性化させるために、中国・四国ブロックとして研究会を、中国・四国ブロック部会委員会で協議の上立ち上げることとしました。2月22日(日)に、松山大学にて、開催される「平成26年度日本地域福祉学会ラウンドテーブル: 四国における地域包括ケアを考える」の終了後に、引き続いて開催いたします。詳しい研究会の立ち上げの趣旨、第1回研究会の内容を次ページにお示しを致しましたので、中国・四国ブロックの活性化のため、ぜひご参加ください。

日本地域福祉学会ラウンドテーブルの案内を、日本地域福祉学会のご好意により転載させていただきますので、あわせてご参加ください。

(日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック担当理事 横山正博)

III. 2015年度ブロック大会(愛媛大会)のご案内

日時 2015年7月4日(土) 9:30-16:30

場所 聖カタリナ大学(愛媛県松山市北条)

テーマ 社会福祉法人による地域貢献のあり方を問う(仮)

※詳細は、追って郵送および本会報にてお知らせします。

日本社会福祉学会中国・四国ブロック研究会の立ち上げの趣旨

今般、ようやく「東京一極集中」と「人口減少」がわが国の将来に与える影響について、危機意識が広く共有され、国においても総理をトップとする「まち・ひと・しごと創生本部」が昨年設置されました。これから、人口減少の克服と地域活性化による「地方創生」に向けて、本格的な取組が進められようとしているわけですが、「地方創生」は、国のトップダウンでは成し遂げられるものではありません。

今後の社会福祉の推進に向けて、各市町村における地域福祉計画の策定や中山間地域の貧困はもとより、保健医療制度の改革や、介護保険制度の見直し、若者の就労、地域包括ケアシステムの構築、子育て支援のあり方、障がい者福祉の向上、地方行政と民間の関係性、ふくしのまちづくり等々、山積するわが国の福祉課題について、「地方（地元）の視点」から積極的に発言・提案されることが求められています。

もとより社会福祉学は、国民の福祉課題について実践的に取り組むための理論構築が主題の領域ですから、研究者も地域住民の目線に立ち、主体的な創意と工夫により、福祉問題解決に資する方向で研究活動に取り組む必要があります。本学会に所属する研究者には、地方に暮らす地域住民の福祉ニーズを鮮明にするアドボケイターとして、さらに少子高齢社会における地域課題解決に資するプランナーや、コミュニティの持続可能性を推進するファシリテーターとして、存分に機能を発揮することが期待されています。

特に中国・四国地方は、中山間地域や島嶼部を多く抱え、少子高齢化の急速進行や「限界集落」の増加など、人口減少・人口流出に悩んできたわが国有数の「福祉課題先進地域」であるとともに、生活問題の表象も「西日本型」というべき相対的独自性を有していると考えられます。また、そういった実情に対して、例えば、全国を先導していた四国の障がい者の自立促進運動や各地における地域包括ケアシステム構築の取組み、さらに「第二次コミュニティ(政策)ブーム」の中で、先進的事例として注目されている広島県の高宮町におけるコミュニティワークの事例や、美作大学で推進されている「ものみりよくプロジェクト」の実践例等々、中国・四国地方独自のユニークな福祉実践や各研究者による地域に根ざした研究なども数多くあります。

しかし、残念ながらそれらは、分野別あるいは個別的な発表にとどまり、今まで中国・四国地方を念頭においた総合的な発信とはなりえていないのが実情と思われれます。「地方」の視点がこれだけ求められる時代、それらを一度集約し、全国へ向けて研究成果を積極的に発信することは、わが国の社会福祉研究の推進に有意義であるとともに、研究者として重要な任務であると考えます。

まずは、向こう3年間の活動のアウトラインを考える自由な情報交換会から始めたいと思いますので、関心のある研究者の皆さんのご参集をお願いします。

第1回目研究会の開催要項を次ページにお示ししております。

日本社会福祉学会中国・四国ブロック第1回研究会開催要項

1. 主催 日本社会福祉学会中国・四国ブロック
2. 趣旨 中国・四国地方の社会福祉の課題解決に資する研究活動に取り組み、その成果を発信するための方途を考え、具体的な研究活動の第一歩の取り組みにつながる情報交換会を実施する。
3. 日時 2015年2月22日(日)16時30分～18時30分
4. 場所 松山大学〈愛媛県松山市文京町4-2 TEL089-925-7111(代)〉
※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
5. 内容 ①研究組織の立ち上げ(名称の検討含む)
②中国・四国地方の社会福祉の課題についての意見交換
③その他
6. 申し込み 不要
6. 大学院生への交通費補助
大学院生の積極的な参加を促進するために、交通費の一部補助を行います。
参加希望者は、事前に事務局までお知らせください。

なお、本研究会は、日本地域福祉学会主催の地域福祉学会 ラウンドテーブル『四国における地域包括ケアを考える』に引き続き、同会場で行います。

☆本研究会に対する問合せ☆

中国・四国ブロック部会委員会研究担当
山口県立大学社会福祉学部 加登田恵子

katoda@yamaguchi-pu.ac.jp

福山市立大学教育学部 八重樫 牧子

m-yaegashi@fcu.ac.jp

☆大学院生の交通費補助に関する問合せ☆

ノートルダム清心女子大学人間生活学部 杉山博昭

sugiyama@post.ndsu.ac.jp

<平成 26 年度日本地域福祉学会ラウンドテーブルのご案内>

(以下、日本地域福祉学会のご好意により転載)

平成 27 年 1 月 22 日

各 位

日本地域福祉学会四国ブロック
担当理事 越 智 和 子
(公印省略)

「平成 26 年度日本地域福祉学会ラウンドテーブル」の開催について

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より日本地域福祉学会の活動、地域福祉の実践、研究の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、日本地域福祉学会 上野谷会長ご臨席のもと、別添開催要綱のとおり標記事業を開催することとなりご案内申し上げます。参加申し込みにつきましては、2 月 12 日(木)までに別紙 1 参加申込書により申込みください。

(担当)

社会福祉法人琴平町社会福祉協議会

越智 和子

〒766-0004

香川県仲多度郡琴平町榎井 891 番地 1

TEL0897-75-1371

日本地域福祉学会 ラウンドテーブル
『四国における地域包括ケアを考える』開催要綱

日本地域福祉学会四国ブロック

- 1、趣旨 2025年に向け地域包括ケアの体制づくりが求められる中で、四国の各地でも関係者によるそれぞれの取り組みが始まっている。医療分野はもちろん福祉推進主体の中でもNPO、社協、施設等の取り組みだけでなく、産学連携による新たな実践への取り組みも始まっている。まさにこれまでの地域福祉の実践とは違う展開としてとらえ、「地域包括ケア」「多職種連携」「地域生活自立支援」「社会福祉法人」「コミュニティソーシャルワーク」「まちづくり」「住民主体」をキーワードにこれらの取り組みから今後を展望し豊かな地域福祉実践とその研究が四国でさらに深めることをめざし開催する。
- 2、日時 2015年2月22日(日)13時30分～16時20分
- 3、場所 松山大学〈愛媛県松山市文京町4-2 TEL089-925-7111(代)〉
※駐車場がありませんので、公共交通機関等をご利用ください。
- 4、内容
 - 13:30 開会
 - 13:40 各実践発表と課題・コメント
 - *発表者① NPO法人どりーまあサービス 山口浩志氏
コメンテーター 四国大学 日開野 博会員
テーマ「地域支援のプラットフォームを目指して～NPO法人どりーまあサービスの徳島での実践～」
 - *発表者② 香川県社会福祉協議会 日下直和会員
コメンテーター 全国社会福祉協議会 渋谷篤男会員
テーマ「香川型協働プロジェクトをめざして～施設×社協×民生委員～」
 - *発表者③ 聖カタリナ大学 高杉公人会員
コメンテーター 聖カタリナ大学 下田 正会員
テーマ 「民学協働で行う地域包括ケア」
 - 15:10 総合討論
3人への質問、取り組みへの感想など参加者と意見交換。
総合コメント：聖カタリナ大学 恒吉和徳会員
 - 16:20 閉会

別紙1

日本地域福祉学会四国ブロック担当 越智 行
【FAX番号 0877-75-1481】

平成26年度日本地域福祉学会ラウンドテーブル参加申込書

名 前	所 属	連 絡 先